



なぜ当院の研修医は  
大きく成長できるのか

専門性の高い病院で研修するメリット

倉敷成人病センターだから実現！

# 少人数制・手厚い指導が あなたを大きく成長させる！

ポイント

1

## 医師として重要なファーストキャリアを こだわりのプログラムで支援

### カンファレンスや研究会・学会での プレゼン力が向上

国内外での発表経験、受賞歴のある医師が直接指導するところが、当院の大きな特徴です。各科の指導医を中心に(多職種)チームで指導します。少人数制で密度の濃い研修が受けられるため、先輩研修医(複数名)は、研修医奨励賞を受賞するなど活躍しています。

### 充実している研修関連施設を賢く選択

救急医療研修(倉敷中央病院、川崎医科大学附属病院など)、地域医療研修は、自身で研修先を選び学ぶことができます。

### 自由選択期間8カ月間という こだわりのプログラム

さらに深めたい科を自分で選んで研鑽できる柔軟なシステムです。

「手技や経験を重視し、医師として大きく成長させる」  
倉敷成人病センターでは、そんな臨床研修を目指しています。  
医師として基礎となる2年間、  
当院で「医師のはじめ」を共に歩みましょう。  
“長い目でじっくり育てる”指導力の高い医師が、  
あなたを待っています。

ポイント

2

## 当院が世界に誇る、 各科のスペシャリストから直接学べる仕組み

### スペシャリストからの指導で飛躍！

最先端の医療技術を、それに対応するスキルを持った指導医からも直接学べます。

### 産婦人科専門研修プログラムの 基幹施設です！

産婦人科専門医を目指す医師にとって、豊富な症例数と学びの環境が整っていることも強みです。

### 指導医だけでなく、 コメディカルからも学べる 風土が根付いています！

多職種カンファレンスで関係性を築き、グラム染色やエコーなど、それぞれの技術の実際の身に付けられる環境があります。

### 特色ある診療科が多数。 他院で研修する同級生の一步先へ

国内トップレベルの腹腔鏡下手術(ロボット支援下手術含む)を行う婦人科、年間約1,400件という中国地方随一の分娩数を誇る産科およびそれを支える小児科、高い専門性と技術を有するアイセンター(眼科)、OKAYAMAリウマチネットワークの中核病院であるリウマチ膠原病センターなど、特色ある診療科が揃っています。





ポイント  
**3**

## じっくり、みっちり、充実！ 研修のための ベストな環境が整っています

### 定員2人の少人数研修ならではの！ 充実のオーダーメイド研修を実現

将来を見据え、それぞれの段階にあった科目を選び、研修することが可能です。研修が進んでいく段階で選択科の変更にも柔軟に対応できるのは、少人数ならではのメリットです。

### 各種研究会や学会などにも参加可能！ 研修医が忙しくなりすぎない環境で学べます

学会、勉強会には多数参加可能です。また参加費の補助もあり、福利厚生面でも手厚いのが当院の特徴です。1年目から自身の進路に合わせて学会参加する研修医もあり、あなたのやる気をバックアップします。

### 倉敷美観地区まで徒歩圏内という好立地！ ONとOFFを切り替えられる



観光エリアやショッピングエリアが近く、リフレッシュしやすい環境です。

### 最新の機器が導入されている点も 研修のメリットです！

当院は2013年に内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチ」を中四国の民間病院で初めて導入し、2021年2月にはダヴィンチXiを2台体制にしました。また、2021年4月より最新式の放射線治療装置（TrueBeam®）も導入。学びの環境を整え、皆さんをお待ちしています。



## リアルな感想を公開します！ 先輩研修医に聞く「当院のメリット」



窪津 康祐 医師

少人数だからこそ、  
気軽に相談できて学びを深められる

内科ではcommon diseaseからリウマチ科での自己免疫疾患など、専門的な疾患まで幅広く経験することができます。内科初診外来では指導医同席のもと研修医が主体となり、診察、根拠に基づきながら方針を立て、患者さんに説明するという一連の流れをこなしていきます。内科ローテーション中に経験した症例を内科地方会で発表する機会もあり、緊張しましたがよい経験になりました。

外科では助手として手術に参加し、術野の確保、腹腔鏡のカメラ操作、縫合手技などを経験します。周術期の輸液、血糖管理、創部の処置など、手術以外の面でも学びは豊富です。

当院は研修医の人数が少なく、各診療科に研修医は基本的に1人だけなので、病棟や外来で処置があれば担当症例以外でも呼んでもらえますし、可能な手技であれば研修医が参加することもできます。各診療科の垣根が低く、互いに顔見知りの関係にあり、他科の先生にも気軽に相談できるのも倉敷成人病センターの大きなメリットだと思います。



研修年数・所属などは取材当時のものです。 (取材時：2021年)



笹口 千寿 医師

各分野のエキスパートより  
しっかり指導をうけてスキルアップ

「丁寧に研修を行いたい」と考えている方に合った環境だと思います。研修は内科ローテーションから始まり、検査技師の方による超音波検査指導や、内視鏡検査の見学・指導の時間が確保されています。初診外来診療では、岡山大学病院より指導医にお越しいただいています。自身が診療の中心となるのはもちろんですが、**外来サポートをここまでしっかりしてもらえる病院は他にないと思います。**気になった症例などを指導医も交えた研修医勉強会で提示しあう時間も有意義ですし、自身で理解を深める時間も作ることができます。

外科研修で必須手技は習得できますし、救急外来・病棟での穿刺ドレナージなども研修医が積極的に施行できます。救急科研修では三次救急病院を選択して研修することができます。研修医が少人数なこともあり、指導医の先生方がローテーション中か否かは関係なく、たくさん声を掛けてくださるところが、当院を選んでよかった点です。



(取材時：2021年)

### 病院見学

1日コース 2日コース

で気軽に見学できます

1日コースの流れ (例)

- 10:00 外来見学
- 12:00 ランチ
- 15:00 手術見学
- 16:00 初期研修医との意見交換

お問い合わせ先は裏表紙をご覧ください

### さまざまな経験ができます

- 協力型臨床研修病院
- 万成病院 (精神科)
  - まび記念病院 (地域医療)
  - 倉敷中央病院 (救急医療)
  - 川崎医科大学附属病院 (救急医療)
  - 水島中央病院 (救急医療)
- 臨床研修協力施設
- むらみクリニック (地域医療)
  - つばきクリニック (地域医療)
  - 八王寺内科クリニック (地域医療)
  - 哲西町診療所 (地域医療)
  - 倉敷成人病健診センター (地域と健康)
  - ライフタウンまび (地域と健康)
  - 倉敷市保健所 (地域と健康)

- 当院が協力する病院
- 岡山大学病院
  - 川崎医科大学附属病院
  - 岡山協立病院
  - 水島協同病院
  - 水島中央病院
  - 川崎医科大学総合医療センター

当院ならではのメリットをCHECK!

研修医にとって嬉しい処遇がいっぱいです

# 海外への研修旅行から福利厚生まで強力サポート体制!

皆さんの研修中における“日常生活”が充実するよう、  
倉敷成人病センターでは福利厚生や処遇などのバックアップ体制が整っています。  
2年間頑張った先には、お楽しみ 海外研修旅行も待っています!  
嬉しさいっぱいの2年間を過ごしてください。

## シンガポールへの研修旅行

研修終了前には海外(シンガポール)研修旅行を実施! 当院の関連施設であるJGH(ジャパン グリーン ホスピタル)を視察し日本と海外の医療情勢を肌で感じることができます。また、自由時間には、お楽しみの観光も!



JGHが入る  
PARAGONビル▶

訪問先はこちら

ジャパングリーン クリニック  
<https://www.japan-green.com.sg/>

▲市内観光で思い出づくり!

## 研修医「旅行記」

2年間の研修も終わりに近づいた2月中旬の5日間、シンガポールへ行きました。在住日本人は3.7万人といわれていますが、シンガポールJGHはそのような方たちに対して、日本と同等の医療を提供することを目的に造られた医療施設です。病気になった時、文化も言語も違う国で自分の状態を伝えることはとても難しいです。国際社会において、日本語で受診できる日本人スタッフによる医療施設は、大変重要な役割を果たしているのだと実感しました。一医療人としてだけでなく、一社会人としても大きな視野を持つ貴重な経験となりました。

研修医より

## 職員食堂は350円で 毎日ビュッフェ!

健康派もガッツリ派も大満足の職員食堂(ビュッフェ形式)。クリスマスにはローストビーフが登場するなど人気です。また、レストランがある9階からの展望も最高なので、ホッとひと息!



## 図書室を完備

学術雑誌(和雑誌・洋雑誌)などを貸出・閲覧できる図書室。スマホから閲覧可能な電子ジャーナルも導入しています。



## 自由参加の部活でリフレッシュ!

スポーツを通じた交流はいかがですか? 陸上、ゴルフ、バスケ、バレエと多彩です。また「倉敷天領夏祭り」へ毎年100名以上の職員が参加しています。



## 研修医ながら学会受賞歴が多数!



各分野のエキスパートが直接指導する当院は、研修医の成長度も抜群。積極的に県内外の学会へ参加し、先輩研修医(複数名)は研修医奨励賞を受賞しています。もちろん、学会費用補助もあります。



## 働くママさん・ パパさんを応援

研修医の皆さんを含む職員の子どもを対象とした院内保育園を完備。子どもが病気のときは、育児支援もあります。



## 処遇

・住宅補助 ・保険各種 ・福利厚生など  
(詳細は別紙/募集要項をご覧ください)



健康経営優良法人2022  
(大規模法人部門)~ホワイト500~に認定されました。



# 各 科 紹 介

幅広い診療部門それぞれに、研修医の皆さんが治療や診断の過程をたっぷり学べるよう、スペシャリストから直接指導や助言を受けられる指導体制を整えています。

## “医師人生”を踏み出す最初の一步で、自身の可能性を最大限に広げる経験を!

サブスペシャリティを持つGPを目指して、はじめの一步!

### 内科

当科は、糖尿病・消化器・肝疾患などcommon diseaseの一次診療、二次健診を中心とした診療に携わっています。糖尿病診療は、医師・糖尿病看護認定看護師・療養指導士を中心としたチーム医療のもと、2,000人以上の患者さんに対する外来診療、教育入院、糖尿病合併妊娠、周術期管理など**豊富な症例を経験**することができます。肝疾患については、B型・C型肝炎から肝硬変・肝がん、さらに脂肪肝からNASHなどの診断治療を行っています。上部下部消化器内視鏡検査は年間約8,000件、内視鏡治療は年間35~45件施行していますので積極的に参加できます。

地域医療機関からご紹介いただいた症例には、幅広く対応できるよう総合内科外来・入院診療に努めています。また、対応困難な重症例には、高次医療機関にご協力いただきながら診療にあたっています。このように幅広い症例の修練を行いながら、内科総合力を培い、さらにサブスペシャリティの専門性を深めることを目標としています。

将来のGP (General Practitioner)、内科系専門医、いずれを目指す医師にも“はじめの一步”としてサポートいたします。「患者さんのために」「社会のために」そして「自分のために」、積極的にチャレンジする研修医を歓迎します。

多数で豊富な症例で生殖医療の実力を付ける

### 体外受精センター

当センターは体外受精、顕微授精、凍結胚移植など、生殖補助医療を中心に育児を目指しています。年間約400例の採卵と約270例の新鮮胚移植、約500例の凍結胚移植を行い、約150人の児を得ています。その他、人工授精や自然妊娠タイミング指導などでも多数の分娩例を得ています。研修は卵胞発育の超音波診断、ホルモン値の評価、採卵時期決定法、採卵手技、胚発育の評価、胚移植の手技、着床の評価、産科に移るまでの妊娠初期管理、流産や子宮外妊娠の診断と手術、その他多岐にわたり、豊富な症例の中で生殖医療を学ぶことができます。

豊富な症例、充実したスタッフ、優れた臨床研究

### リウマチ膠原病センター

当センターでは、整形外科、日本リウマチ財団登録リウマチケア看護師、リウマチ財団登録薬剤師、リハビリテーション科と連携をとりながら関節リウマチをはじめ全身性エリテマトーデス、全身性強皮症、皮膚筋炎/多発性筋炎、混合性結合組織病、パーチェット病、シェーグレン症候群、血管炎症候群などの膠原病および膠原病類縁疾患を幅広く診療しています。生物学的製剤の登場により、リウマチ膠原病の薬物治療はこの数年で大きく変化し、リウマチ系内科医のニーズが高まっていますが、当センターはリウマチ専門医・指導医の資格をもつスタッフによる丁寧な指導を受けることができる病院です。研修医は各種学会で若手奨励賞やトラベルグラント賞を受賞するなどの成果を挙げ、また国際共同の臨床研究でシェーグレン症候群疾患活動性指標の作成に協力し、さらに新しい治療薬の国際共同試験にも参加しています。岡山県難病医療連絡協議会の協力病院およびOKAYAMAリウマチネットワークの中核病院である当センターは、オピオイドリターダーとして近隣医療機関をリードしていることも特徴です。

分娩数が中国地方トップの当院で学びを深めよう

### 周産期センター



当センターは、白壁の町・倉敷を一望できる病棟最上階の8階にあり、産婦人科専門医、小児科専門医が在籍し、中国地方随一の分娩数を誇っています。2021年度の分娩総数は1,384件で、そのうち帝王切開は281件でした。NICUの収容制限のため当センターでの出産は妊娠34週以降の症例に限られますが、研修医の皆さんは、正常分娩の管理・介助

はもとより、帝王切開をはじめとする産科的異常、新生児蘇生法の習熟、新生児の管理など数多くの症例を経験し、周産期診療に関する基本的理解を深めることができます。

飛躍著しい網脈絡膜疾患の治療・硝子体手術と共に歩もう

### アイセンター (眼科)

地域医療としての眼科一般治療はもとより、特に網膜硝子体疾患および黄斑疾患に高い専門性を持ち、黄斑疾患から重症の増殖糖尿病網膜症、増殖硝子体網膜症までにわたり最終拠点として最先端の医療提供(診断・治療・手術)を行っています。硝子体手術は全例で低侵襲手術である25Gもしくは27GのMIVS



を施行。治療することが可能となった加齢黄斑変性では、抗VEGF抗体治療を軸に最新の治療方針で行っています。また、2018年より緑内障に対しての手術治療も行っており、現在では難治の病態も治療できる拠点として機能しています。年間の手術件数は約3,000件以上で、網膜硝子体手術は年間549件、緑内障手術は年間258件、単独白内障手術は年間2,106件、抗VEGF抗体治療は年間2,788件以上の治療を行っています。

日本トップレベルの腹腔鏡下手術を間近で!

### 婦人科

当科には、日本産科婦人科内視鏡学会の技術認定医6人(ロボット手術ライセンス取得6人)が在籍しており、婦人科腹腔鏡下手術は良性および悪性疾患、緊急疾患まで年間1,600件以上(内ロボット支援手術約450件)行い、日本トップレベルの技術と件数を誇っています。特に妊孕能温存を希望される子宮頸がんの患者さんに対する「腹腔鏡下広汎子宮頸部切除術」など特殊で難易度の高い手術もあり、日本全国から手術を希望される患者さんが多く受診されるのも特徴です。また、がん化学療法も年間約1,000件行い、ターミナル期まで誠意を込めて診療しています。産婦人科医19人(2022年4月現在)のうち8人が30代。症例数に恵まれた環境で、世代も近く頼りがいのある先輩医師とともに、活発な雰囲気の中で十分な研修が行えます。



診断・手術手技・化学療法の習得でぐんぐん成長!

## 外科

当科では、心臓・血管外科以外の外科治療を行っており、定期的な内科、放射線科、外科合同カンファレンスで術前・術後の症例検討を行い、高度な医療提供や各医師のレベルアップを図っています。乳がんでは手術・化学療法・放射線治療を、肝がんではラジオ波治療・手術などの集学的治療を行っています。また、鼠径ヘルニア・消化器がん・胆石症・肺がん・気胸などへの鏡視下手術の積極的導入など、手術の質を落とさず、体に優しい治療を目指しています。さらに、術前・術後化学療法、緩和医療なども行い、診断から終末期まで幅広い治療を提供しています。外科専門医制度においては、岡山大学病院・倉敷中央病院を基幹病院とするそれぞれの岡山大学広域外科専門研修プログラム・倉敷外科専門研修プログラムの連携病院として参加しています。また、日本消化器外科学会認定施設、日本胆道学会指導施設であり、それぞれの専門医を目指すことができます。

地域に欠かせない特色ある小児医療現場で手厚い指導を!

## 小児科

当院は小児科専門医・小児神経専門医の臨床研修指定施設であり、小児神経疾患の患者さんがとても多いのが特徴です。小児神経領域では周産期障害や染色体異常などの先天性疾患、脳炎や脳症などの後天性の運動障害や知的障害、てんかん、発達障害などのお子さんを多く診察しています。てんかんの薬物治療を行っている患者さんも多いのですが、最終的に薬物治療を終了できる場合も多く、ご家族とも力を合わせて頑張っています。また、発達障害の分野に特に力を注いでおり、医学的診断、作業療法士や言語聴覚士による院内個別療育、臨床心理士による心理カウンセリングなど、さらには院外の教育機関や療育機関なども連携して診察を行っています。さらに、周産期センターでは年間1,400人を超す児が出生し、周産期の多彩な疾患を経験することができます。また、一般小児疾患・喘息・アトピーなどのアレルギー疾患の診察も行います。

リウマチ指導医・専門医から直接指導を受け、進歩する自分を実感!

## 整形外科

当科では、関節外科、手の外科、足の外科、脊椎外科、運動器外傷など、運動疾患に関わる広い分野の研修が可能です。治療部位は頭部を除く全身に及んでおり、新生児から高齢者まで、あらゆる年齢層の患者さんを治療します。保存療法にせよ、手術療法にせよ、治療の結果が直ちに目に見える形で表れるのも整形外科の特徴です。ごまかしの利かない職人芸だともいえますが、それだけにこの世界に飛び込めば一生進歩していく自分と出会えると思います。特に、当科の特徴としてリウマチ性疾患が多く、内科系外科系合わせて5人のリウマチ指導医、7人の専門医から指導を受けられるメリットは大変大きいものです。



乳腺疾患の診断から、治療まで幅広い診療

## ブレストセンター

### 乳腺科

当科は画像診断部門になります。鍛錬を積んだ女性診療放射線技師が検査を担当し、画像診断と超音波の専門医でもある乳腺専門医が総合判定に必要時はその場で病理検査を行います。読影医や病理医とも気軽に時間を共有して診断の精度を極めていきます。錯綜する乳がんの情報の中で、強い不安や間違った認識をもって外来受診される方も多くみられます。認定看護師をはじめ診療アシスタントとともに、がんの有無にかかわらずここへ来て良かったと思ってもらえる、専門性に裏打ちされたcomfortableな診療とは何かをぜひ体得してください。

### 乳腺外科

乳がんは女性が罹患するがんの1位であり、乳がん診療は非常に重要です。乳がん手術は乳房部分切除術、乳房全切除術、腋窩リンパ節郭清、センチネルリンパ節生検などを施行しており、それらの手術適応を、病理医、技師を交えた乳腺カンファレンスで検討し、また患者さんの希望も考慮し手術術式を施行しています。薬物療法は日進月歩ですが術後あるいは再発に対しホルモン剤、抗がん剤、分子標的薬など最適な治療を行っています。以上の通り、当院は日本乳癌学会の認定施設であり、有意義な研修を受けることが可能です。

泌尿器科全領域で最先端の診療

## 泌尿器科

当科では尿路結石、前立腺肥大症、尿失禁、骨盤臓器脱などの良性疾患から、腎がん、膀胱がん、前立腺がんなどの悪性疾患まで泌尿器科全領域で最先端の診療を実践しています。たとえば腹腔鏡下手術においては技術認定医取得者3人が在籍し、当院設置2台のダビンチXiのうち1台を泌尿器科専用機として使用し、前立腺がんや腎がんの手術を行っています。また前立腺がんに対しては放射線治療科の協力により強度変調放射線治療(IMRT)、小線源療法も行っています。さらに当科のスタッフが透析センター長を兼務し、腎不全の治療にも携わっています。平日は毎日が手術日で、年間の総手術件数は岡山大学関連病院において最多となっており、特に難治性尿路結石、骨盤臓器脱の手術実績は中四国トップレベルになっています。豊富な症例数、充実したスタッフ、設備のもとで有意義な研修期間を送ることができます。

病理診断科にて豊富な症例の経験を

## 病理診断科

当院はベッド数に比し、手術件数が大変多く、種々様々な症例を経験することができます。年間組織診断約6,000件、術中迅速診断約200件、細胞診検査約30,000件あります。病理専門医、研修指導医、細胞診専門医である常勤医2人と非常勤医が最良の医療を提供できることを目指し業務を行っています。病理診断は全身臓器について行うので、全身の疾病に対する理解を得るには大変役立ちます。また、各病理医に質問や学会発表等の指導を受けることができ、他科とのカンファレンスで広い分野の知識を得ることが可能です。

呼吸・循環管理を学び、応用する

## 麻酔科

当院では年間7,000件以上の手術が行われており、そのほとんどが日中に定期手術として集中しています。大変忙しい手術室ですが、麻酔科が主体となってこれらの手術が効率よくかつ安全に遂行できるよう、周術期の患者管理と手術室運営マネジメントを行っています。麻酔科研修では年間3,500件以上の麻酔科管理症例を通して、気管挿管を主体とする気道確保、末梢静脈や中心静脈などのルート確保を徹底的にトレーニングし、実際に麻酔管理に携わって呼吸・循環管理の知識、技術の習得にあたります。また、麻酔管理で学んだ呼吸・循環管理の知識を基に、HCUでの各種ショック患者、呼吸不全患者などの治療に従事し、重症患者の診方ならびに各科との治療連携を通してチーム医療のあり方についても学びます。当院の特色は一人の研修医が体験できる症例数の多さにあります。大病院のように豊富な症例内容には少し及びませんが、十分な症例数で研鑽を積み、臨床医として必要不可欠な患者全身管理、さらにはその応用としての患者急変時の対処法を体得してください。

画像診断とIVRをみっちり!

## 放射線科

当科では80列のマルチスライスCT2台(診断用と治療計画用)と3Tと1.5TのMRI2台、RI装置1台を有しており、多くの症例画像を見ながら実際に診断レポートを書いてもらい添削形式でマンツーマンの指導を受けられます。また他科とのカンファレンスも多くあり、臨床と画像診断の関係についても学ぶ機会は多く、将来どの分野でも必要な、画像診断を体得することが可能です。IVRには血管系、非血管系があり、それぞれ希望に応じて手技の経験ができます。当科の特徴としてUAE(子宮動脈塞栓術)が比較的多く、また穿刺部位に関しても経骨動脈アプローチを第1選択としています。UAEでは指導医と共に入院管理について学ぶことが可能です。

皮膚症状を手がかりに全身を診る医師を育成!

## 皮膚科

皮膚に異常があればすべて治療対象であり、多岐にわたります。膠原病などの全身疾患に伴う皮膚病変もあり、他科との連携をとりながら診療を行っています。卒後臨床研修では皮膚科の診療において、最も重要かつ基本的な視診および触診、真菌検査・パッチテスト・皮膚生検・細菌検査などの基本的な検査法、外用療法・液体窒素・光線療法などの治療方法、救急外来でよく出会う疾患などを中心に経験することができます。

高精度放射線治療機器で全身のがんに対する放射線治療の効果を実感

## 放射線治療科

当科では、がん三大治療の一つであり、様々ながんに対して適応となる放射線治療全般について理解を深めることができます。また標準治療を軸として一人一人の患者さんにあわせた最適な放射線治療を提供しています。当院のライナックは、Varian社製TrueBeam®を導入し、VMAT(回転型強度変調放射線治療)を使用することで、従来治療時間のかかるIMRT(強度変調放射線治療)・SRT(定位放射線治療)等の高精度治療が短時間で施行可能です。その他一般的な3D-CRT(三次元原体照射)等、X線や電子線による放射線治療はすべて実施しています。根治照射から術前・術後照射、緩和照射まで放射線治療の適応判断・外来診察・放射線治療計画・治療後効果判定など放射線治療の一連の流れについて学ぶことができます。また、岡山県内では岡山大学と当院のみで行われている前立腺がんに対する密封小線源治療についても経験ができます。



各科のスペシャリストに学ぶ2年間で、  
研修医を育てる風土が根付く倉敷成人病センターで。

見学情報、当院へのアクセス他  
研修医特設ページはこちら  
<https://www.fkmc.or.jp/resident>



一般財団法人  
倉敷成人病センター  
*Kurashiki Medical Center*

〒710-8522 岡山県倉敷市白楽町250

【研修に関するお問い合わせ】

卒後研修センター

TEL 086-422-2111 FAX 086-422-4150

E-mail : [ikyoku@fkmc.or.jp](mailto:ikyoku@fkmc.or.jp)

<https://www.fkmc.or.jp/resident>